

令和7年第2回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和7年2月21日 午後2時00分
(中斷：午後3時47分)
(再開：午後4時56分)
- 2 閉会 令和7年2月21日 午後5時11分
- 3 会議に出席した委員
田中早苗教育長職務代理者、太田孝雄委員、高崎佐智江委員、田中智和委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員
教育部長 増田直道
教育総務課長 川口 崇
学校教育課長 峠 尚良
生涯学習課長 山田達也
スポーツ課長 鈴木雅也
文化財課長 天野敏規
図書館長補佐兼係長 彦坂幸子
教育総務課長補佐兼係長 木村真一
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第2回定例会議事日程

日 時 令和7年2月21日（金）

午後2時00分

場 所 市役所南庁舎4階 政策会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議題

- (1) 議案第1号 令和6年度一般会計教育費補正予算について（※3月補正分）
- (2) 議案第2号 令和7年度一般会計教育費予算について
- (3) 議題第3号 給食費の額の改定について

4 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 小中学校及び図書館への寄附について
- (3) 令和6年度一般会計教育費補正予算について（※2月臨時補正分）
- (4) 田原市教育委員会表彰について

開 会 午後2時00分

教育長

それでは、失礼いたします。本日は、何かとご多用のところ、ご出席くださりまして、ありがとうございます。

ただいまの出席者数は5名であります。

定足数に達しておりますので、令和7年田原市教育委員会第2回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者として、太田委員と田中早苗委員のご兩名を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

教育長

それでは、議題に先立ちまして教育長報告を、私からさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

資料の2ページ、3ページとなります。よろしくお願いいたします。これだけの会に出席したわけなのですけれども、その中の抜粋で、まず、1月24日ですが、皆さんと共に、東三河管内市町村教育委員会の教育委員代表者会議と研修会に出席しました。

これをなぜ最初に報告するのかというと、実はこの会は、次年度、田原市で開催をされます。令和8年1月、最初は23日の予定だったので、その日程ではどうしても都合が悪いという連絡があって、今また調整中です。

この会では、蒲郡市の教育政策課長さんと学校教育課長さんが、明日の未来に向けてというお話をされました。その内容は、実は大型のプロジェクトで、西浦の義務教育学校を新しく校舎を建てて設立することと、今ある大きな蒲郡市民会館を駅の北側に移して、いろいろな施設と組み合わせて建設するということです。

ですので、両方合わせると数百億円になるらしいのですけれども、そういうようなまちづくりをしていく、そんな話がありました。

はっきり言って、西浦小学校も西浦中学校もそんなに大きくないので大丈夫かというのは、いろいろなところから声が聞こえたのですけれども、学校を残す方策として、義務教育学校の設立というのはわりと使われるのですが、やはり先を見越したところで本当にいいのかという検証は必要かなと感じました。

次に、1月25日ですけれども、田原市の子ども会と同時に渥美半島環境教育フォーラムというのが、田原と赤羽根の2カ所に分かれて行われました。どちらも小学生が出るというので、時間差で顔を出し挨拶をさせていただきましたが、特に下段のほうの渥美半島環境フォー

ラムについては、そこにある高松と若戸と清田の3つの小学校の代表者が出てきまして、それぞれ自分たちが総合学習で取り組んでいる自然保護に対する活動を発表しておりました。

非常に3校とも工夫を凝らし、それぞれの学校の特色が出て、ふるさと学習、ふるさと教育というのは、こういうものだとよく実感させてもらえる会でした。

それから、1月26日に第15回東三河日本語スピーチコンテストというのが、田原文化会館で行われました。内容が分かっていたら、もっと学校に紹介したのかなと少し残念でした。一応、小、中学と、それから高校一般の2つの部に分かれて、いわゆる外国籍の方が日本語のスピーチをするということだったのですけれども、小、中は残念ながら田原はいなかったのですが、高校一般の部に田原福祉グローバル専門学校の2名が出てきまして、非常に両名がすばらしいスピーチをして、1位と3位に当たる最優秀と優良賞を取っていきました。これは、校長に後で祝福の電話を入れておきましたが、非常にいいスピーチだったと思います。

それから、2月1日から渥美郷土資料館で、ひな祭り展。その後になりますが、2月15日からは今度は博物館のほうで、ひな人形と初凧展という同じくひな人形に焦点を当てた催しが始まりました。

渥美郷土資料館は、1階にひな人形をぐっと集めて本当に華やかさを出していて、博物館は広いホールいっぱいを使って順番に歴史をたどっていけるような形になっておりましたので、ぜひ皆さんにも見に行ってくださいとありがたいかなと思います。

それから、2月4日から校長二次時面談というのを3回に分けて、自分と学校教育課長と学校教育課長補佐と大羽指導主事の4人で対応いたしました。

それぞれ人事に関わることで、校長の学校経営に対する考え方を聞いた後、大まかな人事構造について伝えました。

それから2月9日、第39回愛知県児童福祉施設親善マラソン大会がサンテパークたはらで行われました。これについては、そこで走る子供たちが児童福祉施設という、親から少し離れて、虐待であるとか、あるいは育児放棄であるといったことがあって入所している子供たちです。大っぴらには宣伝はできなかったんですけども、非常に表情は明るくて、それぞれの施設がよく対応してくれているなと思います。

総勢としては300名を超える大きな大会になったのですが、非常にサンテパークがよかったというような声を聞いておりますので、また来年度もできたらお願いをしたいということは、スポーツ課長に言うておきました。後は、スポーツ課長が上手に配慮してくれる

かなと思っております。

それから、2月12日に市の校長会の前に、教育論文の表彰式が行われまして、入選者トップ3名を表彰させていただきました。

このときに、教員の働き方改革が行われている中で、教育論文の執筆はそれに反しないかという声は聞こえているのだけれどもという話を自分がして、だけれども、自分の授業を振り返られないような教員というのはやはり伸びないと。だから、働き改革とは別のところでやはりこういうものが書けるのが大事だよという、そんな話をさせていただきました。

それから、3ページですが、2月16日に田原市防災講演会に出席してきました。実は、このときには菜の花コンサートであるとか、もうひとつ、亀の子隊の関係する環境のイベントがあって、これが3つあったもので困ってしまったのですけれども、最初に出ると決めた田原市防災講演会に出席したのですが、これが非常に有益な会でした。

能登半島地震のときに避難所を開設したそのときの苦労だとか、市としてそういうのが起こった場合にはどうのような準備が必要だ、あるいはこういうようなボランティアを受け入れる体制が必要だという、非常に懇切、丁寧に説明されたすばらしい会でした。

そして最後になりますが、本日の午前中ですけれども、田中さんと一緒に東三河の小中高特の連携教育推進協議会という会議に出席してきました。

これは、基本的に小中高特の連携を進めようという、大雑把に言えばそのとおりなのですけれども、そのためには何をするかというと、穂の国セッションというウェブを立ち上げて、高校が一体どうのような事業であるとか、催しをしているのか、あるいは先輩がどうようなところ就職をして、そしてどうような感想を持っているのかを聞くであるとか、あるいは異校種の授業をそれぞれの学校の先生が見合っどうするのかというような、非常にいい活動を二十年間続けていると。だから、今年以降もぜひ続けていきたい会でした。

そこで、田中さんと自分が、いろいろ意見は言ったのですけれども、今、市内3校の出願状況が新聞に出ているわけなのですが、はっきり言うと非常に厳しい状況です。

では、一体どうするのかというのは、あの状況を見ると考えざるを得ないなど。そうなったときに、やはり中高の連携をもっと進めるにはどうしたらいいのかというような投げかけをせざるを得なかったわけなのですけれども、やはり最終的には高校の魅力をいかにして中学に伝えるか。やはりそれが大事という、そこに帰結するのですが、そういう中で、時習館の寺田校長や他の高校の校長が自分の学校を熱く語ってくれましたが、やはりあのように熱く語らないと、中学生には

伝わらないなと感じた会でした。

ということで、自分の報告は終わらせていただきますけれども。何かご質問等ありましたら、よろしくお願ひいたします。

よろしいでしょうか。

ご質問もないようですので、教育長報告を終わらせていただきます。

教育長

これより議題に入ります。

初めに、議案第1号「令和6年度一般会計教育費補正予算について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

教育総務課長

それでは、議案第1号に入る前に、資料の追加をお願いしたいと思います。

議案第1号の追加資料といたしまして、別ファイルの資料を入れさせていただきます。内容としては、白谷海浜公園陸上競技場走り幅跳及び走路改修工事に係る繰越明許費の資料になっております。

別ファイルで大変恐縮ですが、資料の追加をお願いしたいと思います。

それでは、議案の説明をさせていただきます。

4ページを御覧ください。議案第1号 令和6年度一般会計教育費補正予算について、令和6年度一般会計教育費補正予算については別添によるものとする。令和7年2月21日提出、教育長名でございます。

今回の3月の補正予算の案件でございます。まず、内容につきまして、教育総務課からご説明いたします。

事業ごとに説明をさせていただきます。事業名は、まず5ページを御覧いただきますと、左のほうに事業3というところがございますが、こちらが、義務教育振興事業という事業になります。

そこから右のほうにいきまして、補正額というところがありますが、こちらの事業では815万6,000円の減額ということになります。

6ページを御覧ください。6ページは、減の理由について記載していますが、こちらは不用額を減額するものでございます。

それでは、次に7ページを御覧ください。7ページは、事業名、高等学校等生徒支援事業でございます。

こちらは、200万円の減額でございます。8ページに記載がございしますが、減額の理由は不用額を減額するものでございます。

次に、11ページを御覧ください。11ページ、事業名は小学校教育扶助事業200万円の減額です。こちらにも、12ページに理由がございしますが、減の理由は不用額を減額するものでございます。

次に、13ページを御覧ください。事業名は、小学校整備事業でございます。補正額は、9,845万6,000円の増額になります。

こちらは下の表にあるとおり、補正額の内訳は委託料が347万8,000円の増額。

使用料及び賃借料が6,595万4000円の減額、工事請負費が1億6,093万2,000円の増額でございます。

14ページを御覧ください。14ページに記載がございますが、こちらの増減の内容ですが、屋内運動場空調設備整備工事のものと、それに伴う監理業務による増、バリアフリー化等整備工事及び監理業務に伴う増、その他が15ページにもございますが、不用額について精査するものでございます。その増減で、こちらの事業の補正額となっております。

次に16ページを御覧ください。16ページは、繰越明許費に関する資料で、こちらは屋内運動場空調設備整備工事及び管理業務、バリアフリー化整備工事及び管理業務について、国の補正予算に合わせて3月補正予算をお願いしたもので、年度内の完了が見込めないものから繰り越して、令和7年度に事業を実施するというものになっております。

次に、17ページを御覧ください。17ページは、中学校管理運営事業で、714万2,000円の減額になります。こちら18ページに理由がございますが、不用額を減額するものになります。

19ページは、中学校教育扶助事業で、300万円の減額ですが、こちらも不用額を減額するものになっております。

続いて、21ページを御覧ください。21ページは、事業名は中学校整備事業で、補正額が9億1,263万円の増額になります。

下の表を御覧ください。こちらの表にあるとおり、補正額は委託料で、331万8000円の減額、工事請負費が9億1,594万8,000円の増額でございます。

内容につきまして、22ページを御覧ください。22ページの内容は、屋内運動場空調設備整備工事及び監理業務による増でございますとか、校舎等の照明器具LED化整備工事及び監理業務による増、またバリアフリー化等整備工事による増、その他は、次の23ページにかけて書いてありますが、不用額を減額するものになります。

続いて、24ページ、こちらは繰越明許費に関する資料でございます。こちらも屋内運動場空調設備整備工事及び監理業務、教室棟の照明器具LED化整備工事監理業務、バリアフリースイッチ整備工事について、国の補正予算に合わせまして、今回3月補正の予算をお願いしたもので、年度内の完了が見込めないことから、繰り越して令和7年度に事業を実施してまいります。

学校教育課長

教育総務課からは、以上になります。

引き続きまして、学校教育課です。

25ページを御覧ください。国際理解教育推進事業282万1,006円補正でございます。

内容につきましては、26ページを御覧ください。入札の結果、不用額が出ましたので減額するものでございます。

続きまして、27ページを御覧ください。中学生海外交流事業でございます。227万3,000円の減額でございます。

28ページに内容が示してありますが、入札結果により不用額が生じたため減額するものでございます。

以上です。

生涯学習課長

それでは、生涯学習課から説明します。29ページ、市民館整備事業は、30ページの事業概要のとおり、設計業務などの入札残による費用額を記載のとおり減額補正をするものでございます。

続いて、31ページの田原文化広場運営事業は、32ページの事業概要のとおり、消費電力の減少に伴う不用額を記載のとおり減額補正をするものでございます。

33ページ、滝頭公園スポーツ施設運営事業は、34ページの事業の概要のとおり、修繕料の不用額を記載のとおり減額補正をするものでございます。

続いて、追加資料で1枚ファイルを、本日追加させていただきました。繰越明許補正見積書を御覧ください。

スポーツ施設整備事業、白谷海浜公園陸上競技場走り幅跳等走路改修工事につきましては、令和6年9月補正で予算を確保しておりましたが、年度内の工事完了が見込めないため、令和7年度に繰り越し、事業を行うものでございます。

以上でございます。

文化財課

続きまして、文化財課になりますが、35ページを御覧ください。

事業名は、埋蔵文化財調査事業になりまして、補正額は267万7,000円の減額ということになります。

次のページ、36ページを御覧ください。事業の概要のところ、大アラコ古窯跡位置確認発掘調査業務が、国庫補助の不採択によって執行見込額を減額するものであります。

以上です。

図書館長補佐兼係長

続きまして、図書館です。37ページを御覧ください。

事業名は図書館運営事業です。補正額が1,367万3,000円の減額となっております。

理由といたしましては、38ページを御覧ください。不用額を減額するものです。

教育長

以上です。

以上、よろしいですか。

それでは、事務局の説明が終わりましたけれども、委員さんのほうから、何かご質問等ございますでしょうか。

田中早苗委員

はい。

教育長

はい。田中さん、どうぞ。

田中早苗委員

すみません。バリアフリー化整備工事というのは、肢体不自由児が入学する予定があるのか、それとも避難所の機能としてやはり必要だという、そういう別の理由なのか教えてください。

教育総務課長

田原中学校に入学予定の生徒さんで肢体不自由の方に必要な設備として、バリアフリースイレを工事として行いたいというものです。

田中早苗委員

ほかの小学校については、そういう理由ですか。田原南部小なども。

教育総務課長

田原南部小学校も入学予定の方の児童さんの状況を確認しまして、必要な設備をこちらで整えていくというものになります。

田中早苗委員

入学に間に合いますか。

教育総務課長

入学に間に合わせるように行います。

また、高松小学校については、今既に在学中の子ですけれども、当時の状況では、ここまでの設備は必要ないという見方でしたが、実際に入学して過ごしてみたところ、必要だということが分かってきましたので、今回、補正予算で行っていきたいというもので、それも含まれております。

田中早苗委員

ありがとうございます。

教育長

はい。大規模改造と書いてあるものだから、間に合わせてほしいという意味はよく分かります。

そのほか、いかがでしょう。

太田委員

すみません。

教育長

はい。どうぞ

太田委員

高等学校生徒支援事業の件で、バス通学費の助成金が減少したことによって、予算が余ってきて減額の補正予算が上がってきたということで、来年度は新規事業として、この助成を拡大するということがあるのですが、実際に今、市内だけではないですけれども、高校生が本当はバスで公共交通機関を利用しなくてはいけないところを、家庭で送迎していることがあるのではないのかなと思うわけなのです。

その辺のことを前にもお聞きしたことがあるような気がするのですが、実際の現状としては、バスを利用している高校生の割合をお聞きしたいと思います。

教育長

はい。いかがでしょう。

教育総務課長	なかなか、バスを利用している方の割合というのは把握していません。
太田委員	本来なら、公共交通機関のバスを利用せずに、家庭で送迎をしている風景を見るわけですけども、現状その辺の実態をどうつかんでいるかを聞きたいです。
教育総務課長	申し訳ございません。細かい実態というのは、今は分からないところもあるのですが、推計で考えてみたのが、実際にバスを利用する方でも、今抑えている方が今度拡大すれば1割ぐらいは増えていくのではないかなということは、いろいろ考えてやって試算しているところなのですけれども、年間では今で言えば500件ぐらいの申請がある状況になっています。
太田委員	そうですか。
教育長	あくまでも申請を得て、基本的に給付をするという形です。
教育総務課長	500件というのも、実数とは異なりまして、3か月定期ならそれぞれが1件というかたちで、申請書の数でこちらも把握をしていました。
高崎佐智江委員	失礼します。ちょうどバリアフリーの工事で、旧田原町、赤羽根町、渥美町と、ちょうどバランスよく分かれているのでお伺いしたいのですけれども、業者の選定はどのように決めていらっしゃいますか。
教育総務課長	こちらは、入札になります。
高崎佐智江委員	入札で1者を選定していく形になります。
教育総務課長	ありがとうございます。そうすると、例えばメンテナンスとかを関係なく、遠くの業者になるということも考えられるのですか。
高崎佐智江委員	入札の要件として、例えば市内業者に限るとか、そういう条件もあると思います。
教育総務課長	例えば工事の段階で入札となると、入札する業者さんというのは一般的に工事の業者さんへどういうアプローチで入札になっていくのですか。
高崎佐智江委員	工事施行を可能な登録のある業者さんの中で、競争入札をしていく形になると思います。
教育総務課長	こちらから広く募集して、今度こういう工事があって入札していただきみたいな感じで。
教育総務課長	そうですね。実際には担当課で施行しますよということを上げていきまして、市として契約検査の担当から入札に出すという形になります。
教育部長	入札は種類が決まっています、土木一般とか、建設一般などがありまして、その中に登録業者があって、この工事は土木一般でそこから拾うと。あとは工事業者によって、何点以上の業者を拾うとか、そ

高崎佐智江委員

ういう形で決まっています、基本的には市内の業者を育成するという考えのもとにやっています。

十分な競争が確保される担保をつけながら、契約検査課のほうで、そういった基準で拾っています。

ありがとうございます。すみません、いつもどうやって決めるのかなど疑問だったものですから、ありがとうございます。

はい。よろしいですかね。そのほかございますか。よろしいですかね。はい。

では、ご質問等もないようですので、お諮りをいたします。

議案第1号 令和6年度一般会計教育費補正予算については、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

委員
教育長

(異議なし)

ありがとうございます。

では、ご異議ないようですので、議案第1号につきましては、原案どおり可決いたしました。

では、次に議案第2号 令和7年度一般会計教育費予算についてを議題といたします。

教育部長

事務局の説明をお願いいたします。

はい。それでは、こちらについては私のほうから説明をさせていただきます。

43ページを御覧ください。議案第2号 令和7年度一般会計教育費予算について、令和7年度一般会計教育費予算については、別添によるものとする。令和7年2月21日提出、教育長名でございます。

次のページが、予算要求調書集計表になっておりますので、こちらはまだ御覧いただきたいと思っております。

次の45ページが、それぞれ教育総務課ですとか細かい表になっていきますので、これは飛ばしていただいて、93ページまで飛びます。

細かい内容は、後で課長のほうから説明があると思っておりますので、私のからは、こちらの令和7年度田原市当初予算(案)について説明させていただきます。

93ページになるのですけれども、こちらが令和7年度田原市の予算(案)ということで、これが実は記者発表で公表している資料に基づいて、私のから予算の概要について説明をさせていただきます。

田原市の予算(案)ということで、こどもを育み、活力ある未来を創る予算という名前が付いています。

その下に、市章の下に目次があって、1番が新年度予算案の概要1ページ、2として新年度の重点施策が5ページ、そこから15ページから23ページにつきましては、こちらの説明は割愛しますので、お願いいたします。別冊で説明資料が付いています。

それでは、次に95ページを御覧ください。こちらが、令和7年度田原市当初予算（案）についての概要でございます。

まず、新年度予算案の概要としましては、こちらに予算編成において、物価高騰ですとか賃金上昇による事業費の増大ということとか、第2次田原市総合計画第2期実施計画に掲げる政策を実施するということがありまして、人口減少対策、人口増加策を推進するための、こどもを育み、活力ある未来を創る予算となっております。

予算規模でございますが、令和7年度の一般会計の歳入歳出予算額は332億円余となっております。

こちらの下を表を御覧ください。それぞれ市の会計は、一般会計と特別会計と企業会計と分かれておりまして、それぞれ一般会計の当初予算額が、先ほど申し上げました332億9,000万円ということで、伸び率4.1%となっております。

特別会計は、国民健康保険と後期高齢者医療を合わせまして91億7,769万円ということで2.1%減、少し下へいただいております。企業会計は下水道事業なのですが、合計62億2,663万4,000円、6.2%の増です。

こちらが一般会計、特別会計、企業会計を合わせまして486億9,432万4,000円ということで、3.2%の増となっております。これが数字上の全体の額でございます。

次のページを御覧ください。96ページになります。

一般会計当初予算の話をしていただきます。歳入ですけれども、市税の合計が45.8%を占める市税152.4億円ということでございます。こちらが、企業の設備投資の増加により固定資産税が大きく増加したということでございます。

こういったものが、下の表になっておりますので、市税の額がこれぐらいとか、この円グラフで市全体の予算の歳入の状況を御覧いただきたいと思っております。

その下の四角のポツですけれども、財源区分を見ていきますと、市税等の自主財源比率は71.2%で、国庫支出金等の依存財源比率が28.1%ということになっております。

この下の一般会計予算歳入項目の推移ということで、御覧いただきますと、一番下が来年度、令和7年度の一般会計予算になっているのですが、これを見ますと市としては、過去二十年間のうちの2番目ぐらいの非常に大きな予算になろうかと思っております。

次のページを御覧ください。歳出分でございます。

これは、一般会計の332億9,000万円のうちの、それぞれの比率を見ていただいたもので、こちらのほうの円グラフになっております。

民生費が96.1億円、総務費が50.7億円、教育費49.7億円で、教育費

は全体の中の3番目の予算ということで、大きな予算を占めていることだけを御確認いただきたいと思います。

その下の性質別ということで、人件費、扶助費、公債費の義務的経費が、市で最初からこれが必要だということで必要経費の部ですけれども、140.9億円、構成比が42.3%になっております。

あと、物件費、補助金とか、繰出金が147億円、構成比が44.2%、そして投資的経費、これはいわゆる工事です。建物を作ったり、道路を作ったりする費用が44.9億円で、構成比13.5%となっております。

義務的経費が、その下のポツですけれども、前年と比較する増加なのですが、人事院勧告についてここに書いてありまして、御覧になると非常に増額となっているものですから、どうしても人件費が増えているということでございます。

その下のその他経費につきましては、積立金が11.6億円、物件費が70.4億円となり、大きく増加しているということです。

今回、ふるさと納税がうまくいきまして、大きな額が上がっているというのが特徴かなと思います。

その下の投資的経費が、実は非常に地域の皆さんの関心があるところなのですが、当初予算で44.9億円ということで、減ってはいるのですが、ここに書いてあるように施行時期等の平準とって、当初予算で予算を組んでしまうと、どうしても業者さんが一遍に出してしまうものですから、それ平準化することによって補正予算とかで年度に分けていきます。

ですから、今回も非常に補正予算が大きく動いているのですが、そういったことがありまして、繰越を含めると67.9億円膨らむということですので、この辺で当初とその後の年が動くということをご確認いただければと思います。

次に99ページを御覧ください。ここからが、新年度の重点施策ですけれども、また後で課長から説明がありますが、私から少し載っているところだけポイントを絞って説明いたします。

重点政策1、住み続けたいまちづくり（1）妊娠・出産・子育て・教育環境の充実ですけれども、こちらの四角枠で囲った四角のポツが5つあるのですが、この上から2番目の、小中学校の給食費の半額支援、そこから以下市民プールまでは、教育費の予算ということです。その下の表をご覧くださいますと、左側の表を見ますと二重丸が新しく出たものが、新規です。

黒いポツが拡充で、丸が継続となっておりますので、こちらのほうの下側の表の、小さい左側に1、2、3、4とあるのですが、ここで紹介だけさせていただきます。

5、6、7、8の小中学校の給食の支援から、中学校の休日部活動

の地域移行までが、教育関係でございます。

次のページをご覧いただきたいと思います。次のページの9、10、11、12、小中学校の整備から、一流アスリートによるスポーツ教室の開催、こちらも教育予算でございます。

次が、下の(2)の福祉医療の充実ですけれども、こちらにつきましては、教育費の関係と関係はしているのですが、ありませんので割愛させていただきます。

101ページを御覧ください。101ページは、住んでみたい・訪ねてみたいまちづくりということで、(1)「地域の特色を活かした産業の振興」は教育費が入っていませんので、こちらも飛ばしてきまして、次の102ページの「定住・移住、関係・交流人口の拡大」は若干関係してきまして、103ページの45番、上から2番目のスポーツ課のアジアサーフィン選手権の開催支援、こちらが教育関係の予算となっております。

次に、重点政策3の同ページでございますが、未来につながるまちづくり、「安心・安全で快適なまちづくり」ですけれども、ここにつきましては、このページの一番下、市民館の整備が生涯学習課の教育関係の予算でございます。

次の104ページについて、表については該当ございません。

(2)「持続可能なまちづくり」ということで、104ページから105ページに載っているのですけれども、その中で105ページに飛んでいきますと、中段のところ、再掲として子ども・子育て政策とあります。ここに子ども・子育て施策の重要なものが改めて載っておりますので、後からお目通しをいただければと思っております。

こういった形で概要があるのですけれども、それ以下の先ほど申し上げました細かい数字については少し難しいので、また後ほどご確認いただければと思います。

次が、また飛んで恐縮なのですけれども、118ページを御覧ください。こちらが、別冊でマスコミ用に作った資料なのですけれども、説明書ということで、先ほど言った新規だとか拡充とかそういったものが少し詳しく載っている表がございます。

この表の見方は、事業名が左に載っておりまして、先ほど新規だとか拡充だとか継続の区分が載ってきまして、番号が資料1、2と書いてあります。

次の120ページを御覧ください。これから課長が説明するものから、こちらのところで簡単に載っているものだけ紹介します。

120ページの下段、小中学校給食の支援、新規。

それから121ページを御覧ください。こちらが小中学校の学習用ICT環境の充実、新規。その下の、中学校の休日部活動の地域移行、

教育総務課長

こちらが拡充。

次が122ページですけれども、小中学校の整備の拡充。その下の表、高等学校とバス通学費の助成、拡充。

123ページに飛んでいただきますと、多世代交流施設（市民プール等）の整備、拡充が載っております。

その後、少し飛んで129ページまで、こちらの上段がアジアサーフィン選手権の開催支援、新規が載っております。

次に131ページを御覧ください。この下の表が、直接はありませんけれども、赤羽根市民センター図書館の複合化による施設ということで、こちらが載っていますので、ご紹介させていただきます。

次の132ページ、市民館の整備ということで、新規で載っています。以上が概要ですけれども、後ほどそれぞれの事業につきましては、各課長のから予算参考資料で説明しますので、ご確認を申し上げます。

私からは、以上です。

それでは、続いて予算参考資料のほうで、各課で説明をさせていただきたいと思います。

まず、55ページを御覧ください。教育総務課の関係になります。

この予算書参考資料は、かなりのボリュームになりますので、大変恐縮ではございますが、令和6年度と大きな変更がないものは、説明のほうを簡略化させていただきたいと思います。

まず、55ページが、教育委員会運営事務でございます。こちらは内容的には大きな変更はございません。

続いて、56ページを御覧ください。56ページは、義務教育振興事業になります。この事業については、先ほどの重点事業にもございましたが、入学応援金の支給ということで、令和6年度に引き続きまして、入学応援金の支給が4,700万円の予算計上となっております。

また、増額の内容でございますが、小中学校の水泳指導業務、水泳の授業のバス送迎業務、こちらのほうが学校プールの集約化の実証調査の実施の対象校を徐々に増やしているところもございまして、こちらが2,700万円ほどの増額です。

あと、豊橋市立くすのき特別支援学校運営費も、負担金として支出するものですが、およそ900万円の増額でございます。

56ページの下段、部活動奨励事業でございますが、こちらの内容としましては、部活動奨励交付金と全国大会等出場選手奨励交付金になりまして、増額となっております。こちらは、全国大会等出場選手奨励交付金でございますが、出場選手の数の増額、また増加と、大会の場所が遠方で、そちらを増額の要因として見込んで、およそ80万円の増としております。

続いて飛びますけれども、60ページを御覧ください。60ページ上段、高等学校等生徒支援事業でございます。こちらは、昨年度からおよそ650万円の増額となっておりますが、内容といたしましては、田原市奨学金の受給者の増でございます。

また、従来から行っております市高等学校のバス通学費の助成金事業が、従来から市内在住者を対象に保護者負担の軽減、公共交通の維持活性化として、バス定期の3割助成を行ってきております。

今回、電車代と比較しまして、まだまだバス代のほうが高いということで、物価高騰の中で経済的に困難な方への支援もありますので、そういった意味もありまして、市内高等学校在籍者のバス代の定期代の5割補助ということで拡充をしてみたいというものでございます。そちらが、およそ600万円の増額ということになっております。

下段ですが、小学校管理運営事業、こちらが昨年度よりもおよそ5,600万円の減額という形になっております。主な内容としましては、主な事業内容のところがございます伊良湖岬小学校解体工事が、合計で1億9,700万円ほどの工事になりますが、令和6年度が1億1,800万円ほどの工事、それを継続費として、令和7年度も7,915万6,000円ということの予算計上をしております。こちらが、令和7年度の金額のほうが少ないものですから、減額になっております。主な減額としてはそのような内容になっております。

61ページ、上段ですが、小学校情報教育整備事業、こちらが令和6年度と比較しまして1億2,800万円ほどの増額という形になっております。こちらの増額の内容でございますが、セキュリティ対策システム及び小学校の情報通信ネットワーク機器の更新ということで、こちらが今後令和7年度に更新をしていきたいというものです。

セキュリティ対策システムといいますと、指紋認証でパソコンにログインするような、そういうセキュリティを高めるものですが、こちらを今現在使っておりますけれども、これを令和7年度に新しいものに更新していくというものです。

また、小学校の情報通信ネットワーク機器のほうもタブレットの仕様等も含めまして、なかなか通信速度が不足するという場面も見受けられます。保守の期限も考慮しまして、今回、令和7年度に情報通信ネットワーク機器の更新を行います。こちらが大きな増額の要因でございます。

62ページを御覧ください。こちらは小学校管理運営事業、学校配当予算になります。こちらの内容としては、大きな変更がございませんが、令和6年度並みに、各校へ予算が確保されている状況でございます。ひとつ、泉小学校の部分が表の中で御覧いただきますと、こちらが少し多いですけれども、これは泉小学校のためにとということで、い

いただいた寄附金を基金に積立てておりまして、そちらを300万円活用するという形で予算要求をしております。

63ページの下段ですが、小学校教育扶助事業になります。こちらは、およそ500万円弱の減額となっております。主な内容でございますが、こちらの扶助事業の扶助費の中に、学校給食費の支援が入っています。

こちらは、給食費の半額支援に伴いまして、負担する給食費自体が減るものですから、そちらに対するこちらの扶助費も伴って減るというものでございます。

その影響もございまして、全体でおよそ500万円弱の減額となっております。

その次、64ページ、上段ですが、小学校特別支援教育就学支援事業。こちらにも、扶助費の内容の中に学校給食費が含まれておりますが、こちらにも給食費の半額支援ということで、実際に負担する給食費が減るものですから、それに伴いまして、こちらの特別支援教育就学支援事業での扶助費として、減額となっております。

続いて65ページを御覧ください。65ページの上段、小学校整備事業でございます。こちらは前年度と比較しまして、1億5,700万円ほどの増額という形になります。

こちらは御覧になっていただくとおり、主な事業内容としましては童浦小学校の整備事業があります。

内容としましては、校舎長寿命化改修工事で、継続費でございまして、令和7年度には5億7,900万円ほどの事業の予算、工事監理業務としまして継続費で、令和7年度では1,056万円余の予算、仮設校舎賃貸借ということで、既に令和6年度から仮設校舎の建設が始まっておりますけれども、令和7年度については2,496万円余の予算ということで、こちらの事業は多くを占めておりますが、こういった影響もありまして、小学校整備事業費1億5700万円余の増額という形になっております。

65ページの下段ですけれども、中学校管理運営事業、こちらは1億9,400万円ほどの増額という形になります。

こちらの大きな内容としましては、旧泉中学校の解体工事としまして、総額で3億5,500万円余のものになりますが、継続費で令和7年度は2億1,300万円余の予算ということで計上をさせていただいております。

もう一つ、田原中学校のプール施設解体工事設計業務というものもありまして、令和7年度早々にプール施設を解体する設計業務を行いたいという予算が計上してございます。そちらが、260万円余の予算になっております。

66ページを御覧ください。66ページ、中学校情報教育整備事業でございますが、こちらの内容も小学校と同様でございますが、セキュリティ対策システム更新、こちらは指紋認証システムの更新。情報通信ネットワーク機器の更新、これもネットワークの速度が不足してくるところもありまして、今回、機器を更新するもの。こちらの増額で、前年度と比較しまして4,300万円余の増額となっております。

67ページは、中学校管理運営事業で、こちら学校配当予算でございます。こちら大きな変更はございません。令和6年度予算並みに予算のほうを確保している状況でございます。

続いて、68ページを御覧ください。68ページ、下段、中学校教育扶助事業でございますが、こちら小学校と同様に、扶助費の内容の中に学校給食費が含まれておりまして、学校給食費の半額支援ということで、実際に教職員の負担が減るものですから、その扶助費についても減額というものになります。

69ページの上段、中学校特別支援教育就学支援事業、こちら学校給食費の半額支援に伴う減額という形になっております。主な内容はそちらになります。

70ページ、上段、中学校整備事業ですが、こちらの内容としましては、東部中学校のエレベーター改修工事を行うということでの予算要求になっております。

続いて飛びますけれども、91ページを御覧ください。91ページの下段、給食センター運営事業になります。こちらは、給食センターの維持管理運営を行うという予算になりまして、大きな変更はございませんが、内容としましては、PFIの委託料が物価変動に伴う増額ということで、およそ400万円の増額という変更になっております。

続いて、92ページの上段を御覧ください。学校給食運営事業でございます。こちらは、令和6年度まで給食センター給食物資購入事業というものでございましたが、今回、給食費の半額支援に伴いまして、補助金を支給していきたいというのも含めまして、学校給食の運営に関わるものということで、学校給食運営事業に事業名を変更しております。

内容としましては、給食物資の購入に伴う予算が2億8,900万円余でございます。プラス、先ほど申し上げた給食費の補助金としまして、市内小中学校在籍者のうち、食物アレルギーで給食を欠食した子の保護者であったり、市外小中学校等在籍者のうち、在籍学校で給食の提供があって給食費を負担した保護者の方に対して、田原市の給食費の支援額を上限としまして、補助金として支給していきたいものになります。

主な内容としては、教育総務課分は以上になります。

続きまして、学校教育課でございます。

54ページを御覧ください。教育統計調査事務ですが、学校基本調査に関わる事務費でございます。こちらにつきましては、昨年度と大きな変更はございません。

続きまして、57ページを御覧ください。学校教育推進事業、学校司書、部活動指導員、非常勤講師等を配置するものでございます。これにつきましても、令和6年度と同様になっております。

その下の段の、国際理解教育推進事業でございます。こちらにつきましても、内容はALTの配置でございますが、来年度につきましては、国際交流ALT1名の予定でございます。

続きまして、58ページを御覧ください。上段ですが、中学生海外交流事業でございます。来年度につきましては、プリンストンへの派遣を予定しております。

続きまして、下段の58ページ、教育サポートセンター事業でございます。教育サポートセンターで不登校、それから特別支援教育に関わる指導、助言、相談活動を行っております。本年度と同様の額になっております。

続きまして、59ページを御覧ください。上段でございます。教員研修事業でございますが、各種教員の研修に関わるものを行っております。本年度と同様になっております。

続きまして、下段の共育推進事業でございます。こちらは新規事業といたしまして、地域クラブ運営開始に向けた事務局体制整備運営支援で部活動の地域移行に関わって、まずは運営のための組織づくり、体制づくりということで、地域クラブ運営負担金を計上しております。

また、報酬のところで地域学校協働活動推進員、コミュニティスクールが各学校増えてまいりましたので、その分人数が増員となっております。

続きまして、63ページを御覧ください。児童・職員健康管理事務事業でございます。これは、小学生と小学校の教員分でございます。

主な事業内容の一番上の右側の、教職員のストレスチェック及び面談のための予算を来年度は確保しております。その他につきましては、本年度と同様でございます。

続きまして、64ページを御覧ください。小学校教材購入事業でございます。新規事業として学習アプリの導入、タブレット端末の更新がございます。

学習アプリにつきましては、タブレットで国語、算数、理科、社会の学習を進めることができるドリルのようなものを導入いたします。

これが、698万円。それからタブレット端末につきましては、来年

生涯学習課長

度で5年を迎えますので、12月に入替えをし、1月から新しいタブレットを使用する予定でございます。

続きまして、68ページを御覧ください。生徒・職員健康管理事業でございます。こちらは、中学生と中学校に勤める教員の分でございます。これにつきましても、小学校同様、来年度から教職員のストレスチェック及び面談の予算を計上しております。

続きまして69ページの下段を御覧ください。中学校教材購入事業でございます。この新規事業にもございますように、小学校同様、学習アプリの導入をいたします。これが、385万8,000円です。

それから、タブレット端末の更新につきましても、小学校同様12月に入替えをし、1月から新しいタブレットを使用するというところで計画をしております。

以上でございます。

それでは、生涯学習課のほうからご説明いたします。

70ページ下段、児童クラブ運営事業を御覧ください。令和7年度は新規事業として、指導職員の能力向上を図る指導員の全体研修の開催と、児童クラブで発生する様々なトラブルに迅速に対応し、サービス向上に努める一環で、全ての児童クラブを巡回する指導員、これを1名から2名配置するため、その報酬と職員手当が増加しています。

続いて、71ページ上段、社会教育推進事業を御覧ください。前年度との相違点は、令和7年度の生涯学習振興計画の見直しに対応するため、通常毎年2回開催する社会教育審議会を、年4回開催する報酬が増加しています。

下段、青少年健全育成推進事業は、青少年の非行防止と若者の自立支援を行う内容で、前年度同様のため説明を省略いたします。

続いて、72ページ上段、二十歳の集い運営事業は、前年度同様のため説明を省略させていただきます。

続いて、73ページ上段、生涯学習講座等開催事業の主な事業は、事業内容のとおりでございますが、役務費の楽器調律費については、令和5年度末に全ての小学校で吹奏楽の部活が終了しておりまして、それまで児童が使用しておりましたトランペットやトロンボーンなど、各小学校の音楽室に大切に保管されておりますので、この楽器を活用して児童生徒文化体験教室で使用してまいります。その調律費として16万8,000円を新規に計上しています。

下段の、江比間野外活動センター運営事業は、令和7年3月末で役割を終える江比間野外活動センターの解体に向け、現在、豊橋市と協議を重ねていまして、令和7年度に実施設計を行いまして、令和8年度には解体工事を行う予定で進めているところでございます。

続いて、74ページ上段、ふるさと教育センター運営事業と、下段の

家庭教育推進事業は、前年度同様のため説明を省略させていただきます。

75ページ上段、芸術文化振興事業を御覧ください。この事業は、従来の音楽イベントに加えまして、令和7年度はこどもオペラや、寄席を開催し、幅広い年代層に楽しんでいただくイベントを計画するほか、報償費の激励金につきましては、令和7年度からスポーツ活動同様、文化的な活動におきましても全国大会などに出場される個人に対して、あるいは団体に対して、新たに田原市芸術文化部門発表会等出場激励金支給要綱を設けまして、激励金を支給してまいりたいと思っております。

また、令和6年度に引き続きまして、この事業で令和7年4月から8月末まで、中学校の音楽部の活動、地域移行する実証事業の20万円を計上しています。

続いて、76ページ上段、市民館運営事業は、前年度同様のため説明を省略させていただきます。

その下段、市民館整備事業を御覧ください。新規事業としまして、野田市民館建設工事、和地市民館多目的ホールの建設に向けて必要となる関連予算を計上しています。

続いて、78ページ上段、田原文化広場運営事業と、その下段、赤羽根文化会館運営事業ですが、内容につきましては、前年度同様のため説明を省略させていただきます。

続いて、80ページ下段となります。芸術文化施設整備事業は、説明を省略させていただきます。

続いて、86ページへ飛びますが、86ページの下段、総合体育館運営事業は、前年度同様のため説明を省略させていただきます。

続きまして、87ページ上段、渥美運動公園運営事業は、備品購入費として渥美総合体育館1階男女更衣室のロッカーを更新する予算を計上し、それ以外は前年同様でございます。

下段の、赤羽根文化広場運営事業は、備品購入費で新札に対応する券売機を購入し、それ以外は前年度同様でございます。

88ページ上段、滝頭公園スポーツ施設運営事業と、その下段、白谷海浜公園陸上競技場運営事業、次ページ、89ページ上段の、緑が浜運動公園運営事業、その下段、中央公園スポーツ施設運営事業、また次のページの90ページ上段の、地域運動公園運営事業は、前年度同様のため説明を省略させていただきます。

90ページ下段、スポーツ施設整備事業は、主な事業内容に記載した工事の予算をそれぞれ計上しています。よろしく願いいたします。

以上です。

よろしく願いします、スポーツ課です。

スポーツ課長

84ページを御覧ください。84ページ上段、スポーツ振興事業は、スポーツ推進等による地域のスポーツ推進を図る費用等をもっております。

大きく変わったところといたしましては、来年度が最終年度になりますスポーツ推進計画の策定業務の委託料が増えております。また令和6年度にこちらのスポーツ推進事業に入っております、多世代交流施設、この後に事業の新規追加がありまして、そこで説明させていただきますが、そちらのほうで委託業務が付け加えになったものにより、昨年度、令和6年度予算の3,684万1,000円より約1000万減となりまして2,695万3,000円の予算となっております。

同じく、84ページの下段を御覧ください。スポーツ団体支援事業といたしましては、おおむね令和6年度同等の事業を実施してまいります。増減は、ほぼございません。

続きまして、85ページの上段をお願いいたします。学校施設開放、こちらにつきましては、令和6年度と同等の電気料等の支払い、また申込書の作成を実施しておりますので、おおむね変更はございません。

続きまして、85ページの下段になりますが、スポーツ大会開催事業といたしまして、スポーツギネス等の事業を実施していくのにあたり、そちらの賞品の予算の増額を予定しています。

86ページの上段を御覧ください。スポーツ大会支援事業は、昨年度予算1,512万2,000円に対しまして、4,523万5,000円となっております。

大きく変わった理由といたしまして、今年の9月から10月に実施予定のアジアサーフィン選手権大会の事業負担金として3,000万円を事業として実施するものでございます。

そのほか、トライアスロン大会、また各大会のビクトリーブーケ、優勝者のブーケ等をお渡しするなど、いろいろな支援を行う事業となっております。

また飛びまして、91ページになります。こちらが新規事業として、1事業増えましてスポーツかが6事業となります。

こちら多世代交流施設から名前が変わりまして、市民プール等整備事業となりまして、こちらのほうが7,930万8,000円となっております。内訳といたしましては、事業者選定委員会の有識者の旅費、報償費、今年度6年度と7年度2カ年にわたる事業の概要のアドバイザー業務の業務委託料。また、設置予定地にあります物件の補償費を70,432,000円を計上しているものでございます。

以上となります。

続いて、文化財課になりますが、ページを戻っていただいて79ペー

ジになります。79ページの池ノ原会館運営事業と、次のページの華山会館運営事業につきましては前年度と同様ですので、説明を省略させていただきます。

続いて、81ページ上段の埋蔵文化財調査事業になります。新規事業のところを御覧ください。国の指定の史跡で大正年間に指定をされました百々にあります、百々陶器窯跡位置確認調査を行っていきます。それと引き続き、渥美半島古窯跡群の資料整理、いずれも国庫補助を活用して行っていく事業を行ってまいります。

下段にまいりまして、文化財保護事業につきましては、前年度と同様の内容になりますので、説明は省略をさせていただきます。

続いて、82ページ、博物館運営事業になります。主な事業内容は、1行目、来年度の企画展といたしまして、渥美半島には3つの大きい貝塚がありますので、そちらをクローズアップした企画展を行っていく予定をしております。

それから、テーマ展で来年度は昭和100年、それから終戦を迎えて80年を迎えますので、昭和100年を振り返る展示の中で戦争についても取り扱っていくというテーマ展を予定しているところであります。

次のページ、83ページの吉胡貝塚公園運営事業になります。

主な事業内容で引き続き、史跡公園としての維持管理、草刈り等を行ったり、資料館の運営をしていきます。新規事業にあります、入館者10万人突破記念、シェルマよしごTシャツ作成、こちらは開館以来18年目を迎えますが、10万人が近くなってきたということで、今現在が9万9,000人ぐらいで、おそらくゴールデンウィーク前後に達成するのではないかと予想してまして、それに伴う記念Tシャツを作っ
ていこうとしているものでございます。

下段のところに、文化財施設整備事業、当初予算では大きな工事は予定しておりません。新規事業で3つ工事が予定されておりますが、事業費内訳にあるような工事を予定しているところでございます。

以上になります。

図書館長補佐兼係長

続きまして、図書館です。

戻りまして、77ページを御覧ください。図書館は、2事業になります。77ページ上段、図書館運営事業です。令和7年度は、図書館システムの更新を行います。その関係で、委託料とサーバー等の機器類もそれに伴いまして更新しますので、備品費も計上させていただいております。

下段、図書館資料収集事業ですが、こちらは昨年度と同額、同内容となっております。

以上です。

教育長

はい。それでは、非常にたくさんの説明が事務局からあったのです

太田孝雄委員
教育長
太田孝雄委員

けれども、ここで事務局の説明が終わりましたので、委員の皆様からご質問等ございますか。

確認で、教育総務課、お願いします。

はい。どうぞ。

教育総務課長

中学校の体育館、屋内運動場の空調工事の件ですが、来年度、東部中、赤羽根中、福江中で、田原中が8年度ということになるのは、工事の解体が絡んでということですか。

そうですね。プールの解体を先に行いまして、ちょうどその辺りでも空調の設備として、ガスバルクというか、タンクを置く可能性がございまして、先にそちらを行ってから空調の工事に入りたいということです。

太田孝雄委員
教育総務課長

田原中学のプールを一番に解体するという何か理由が。

既に配管等が腐食しておりまして、漏水があります。そこの辺りも地盤が少し落ちている部分もありまして、先に解体をしていきたいというものです。

教育長
田中早苗委員

はい。田中早苗委員どうぞ。

86ページのスポーツ大会支援事業の内訳にある旧伊良湖小学校保険料というのは、何ですか。

スポーツ課長

スポーツ課のほうで、2施設持っておりまして、旧堀切保育園と旧伊良湖小学校の倉庫を持っているので、それを使用するための役務費の建物共済が3,839円の費用がかかります。スポーツ課が持っている施設の共済になります。

田中早苗委員
スポーツ課長

スポーツ課の倉庫ということですか。

学校の跡地を倉庫として使わせてもらっています。建物を倉庫として使わせていただいております。

田中早苗委員
教育長

ありがとうございます。

僕も発言していかどうか分からないですけども、生涯学習課長に聞きますけれども、聞き間違いがなければ、社会教育審議会が今度の3月の中旬にあるのですけれども、開催回数は今年は2回ですよ。あれを4回に増やすということですね。

生涯学習課長

前回の改訂作業のときに担当が確認したところ、4回ほど開いたのは、3回でよかったところを委員長さんのほうからもっと審議したいということがあって4回開催されたんですね。今回、委員長に確認をさせていただいたところ、やはり4回程度は開いて皆さんにしっかり議論いただきたいということでございましたので。

教育長

2回目の会議の資料がまだ僕のところに来ないので、挨拶も何も考えられていないのだけれども、要は事務局がそれに耐えられる資料を作らないといけないので、それが大丈夫なのかという心配があります。

生涯学習課長
教育長
生涯学習課長
教育長

すみません。私も少し心配はしていますけれども、
ですよね。

していますけれども、乗り切っていこうと思っております。
そうですか。分かりました。

それから、文化財課長に聞きますけれども、シェルマよしごのTシ
ャツは、現状のままですか。

文化財課長
教育長

現状のままではなくて、何か新しくします。

ですよね。そのときに、要は、あのデザインがどのように決められ
たのか分からないのですが、今度作るときのデザインは、大人が考え
るものか、子どもの意見も入れるものなのか。

文化財課長
教育長

今のところはそこまでは考えられていないのですが。

何が言いたいのかというと、今、図書館が子ども司書とかやっ
て、土日が特に、たはランティアとかが活動場所を探すとしたら、例
えばシェルマは近いから、あそこで考古学博士になろうだとかやれ
ば、田原中学は人数が元々多いので、童浦がもちろんその中では一番
多いのですけれども、ああいう子たちを取り込めば、もう少し子ども
の意見が活用できるような施設になるのではないかなど。

子どもってわりとデザインが上手なんですよ。だから、そういう子
たちの意見も入れると面白いものができるのかなということ、どう
せお金を使うのなら考えていただけるとありがたいかなと思います。

ということで、ほかはどうでしょう。

田中智和委員
教育長

はい。

はい。田中智和さん、どうぞ。

田中智和委員
教育部長

ふるさと納税が伸びたというのは、何が一番の理由ですか。

私も詳しくは聞いてないのですが、国のまちづくりの計画の認定を
持っているのですけれども、そこでいわゆる返礼品を工夫して、物を
増やしたりして、あとは見せ方を工夫した関係で、非常に件数が伸び
ました。

田中智和委員
教育部長

特に人気があるものがあるのですか。

あると思いますが、今までより少し工夫して、ホームページ上の見
せ方とか、物を増やしたと聞いていますので、それが非常に評判いい
と聞いています。

田原智和委員
教育長

ありがとうございます。

スポーツ課長、僕も1個聞きますけれども、来年度も基本的に今年
と同じペースでイベントが組まれるんだよね。

スポーツ課長
教育長

さらに増えて組まれる形になります。

ですよね。スポーツ課が今、回せれているので、いいとは思っただ
けれども、トライアスロンをやっている上で、僕がサッカーのイベン
トに行って挨拶してまたもうひとつのイベントに行くだとか、やはり

大丈夫かなというところがないわけではないですよ。アジアサーフィン大会もこれで増えるものだから。

スポーツ課長 人事等、まだ確定ではないのですけれども、いろいろそういうものも大きな大会もきますので、運用としてのスタッフ、係等の強化をしてほしいという形は望んでおります。

教育長 ただ、やれる範囲で、本当にこけないようにはしっかりやりますけれども、やれないものは実際に削除しながらやっていきたいなと思っております。

スポーツ課長 要は、あなたと高橋係長がいれば話は別だけれども、万が一どちらかがいなくなった場合は、回しきれのかなという不安はある。

教育長 やれると思います。とりあえず、運用でも各協会とかの強化もしていきまして、この部分はそちらの各なんとか協会で行ってくださいという振り分けも多少なりとも進めてまいりますので、一点集中しない形で考えたいと思いますので。

スポーツ課長 来年だけれども、アジアサーフィンだけではなくて、要するに中学校の部活動移行も入ってくるんだね。大丈夫かい。

教育長 学校教育課予算、生涯学習課予算のほうで、人件費の運用について、樽谷先生も含めて、今はそうしているのですが、そのような運用を、ある程度振り分けをしながらやれるかなと考えておりますので。

高崎佐智江委員 僕は、予算だけの問題ではないかなと思いががあるので、人的なものがね。やはり最後は職員を心配してあげてください。特にスポーツ課は担当しているものが多いものだから、上手に回してもらいたいなと思っています。

教育長 そのほか、いかがでしょう。はい、高崎さん。

太田孝雄委員 先ほど太田委員からもありましたが、高校生の通学バス支援5割に拡充、ありがとうございます。

教育長 田原市の保護者を代表してお礼を言わせてもらいました。今後ともよろしく願います。

教育長 はい。

教育長 関連でいいですか。

太田孝雄委員 どうぞ。

教育総務課長 市外の高校へ行く子については、結局3割ということで、私、個人的には不公平感があるような気がするのですが、その辺はいかがでしょう。

教育総務課長 従来から3割なのですけれども、今回は特に市内高校、市内の中で定住していただくということもありまして、そこにいていただくということにもいづれはつながるかなとは思っておりますけれども、特に市内の高校生。それが市内の高校は全てバス路線内にあるということで、電車よりも高い定期代ということもありましたので、今回5割という

太田孝雄委員

ことでさせていただいております。

市内の高校が定員割れの現状からみれば、それもひとつ方策かと思えますけれども、保護者への支援を考えると、市外の高校へ行く子のほうが交通費については、負担が大きいのではないかと気がします。それは、それぞれ家庭なり、子どもが選択したものですから、それは覚悟していると思うのですが、5割と3割、一部の生徒かと思えますけれども、私は少し不公平感を個人的には思います。

教育総務課長
太田孝雄委員
教育長

市内の高校支援ということも含め行わさせてもらっています。

はい、分かりました。

はい。その思いが市内の3校にちゃんと伝わって、市内が魅力ある取組をちゃんとするよう祈りたいなと思います。

そのほかいかがでしょう。

田中智和委員
教育長
田中智和委員

はい。

はい、どうぞ。

すみません。地域クラブの移行について、この後の総合教育会議のほうでは、質問したほうがいいですか。

学校教育課長
田中智和委員
教育長
田中智和委員

今でも、もしよければ。

いいですか。

はい、どうぞ。

59ページの運営支援なのですからけれども、どこまでの運営支援というのを考えているのか。

学校教育課長

この地域クラブの運営負担金というのは、実際に後から説明しますが、地域クラブの移行が9月スタートを目指して、9月からスタートできるように逆算して行って、例えばクラブの登録だとか、クラブの子どもたちの募集、それから、どんなクラブに対してどんな支援をするのかということも含めて、それを検討していく。あるいは、そこで働いていただく方の人件費が主でございますけれども、業務を担う体制づくりのための費用ということです。

実際にクラブに対して、例えばですけれども、指導者にお金を渡すとか、保険料を少し補助するだとか、道具の補助をするとか。それを9月までの間に検討して、また別で予算を確保するというのは、この中には入っていないです。

田中智和委員
教育長
スポーツ課長

はい。分かりました。ありがとうございます。

また、この中でほかには補足はありますか。

はい。学校教育課長の峠先生が言ったとおりで、まず土台づくりとして、どういう認定制度をつくるかというのを関係団体、関係有識者でつくり、その事務等、いろいろな手続きするための事務員さんを2人準備してやっていくという形で考えております。

田中智和委員

はい。ありがとうございます。

教育長

より細かい内容については、この後の総合教育会議でもう一回出てきますので、またそこでみて手を挙げていただくとありがたいなと思います。

田中智和委員
教育長

はい。

それでは、そのほかございますか。よろしいですかね。

それでは、ご質問等もないようですので、お諮りをいたします。

議案第2号 令和7年度一般会計教育予算については、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

委員
教育長

(異議なし)

ありがとうございます。

では、ご異議ないようですので、議案第2号につきましては、原案どおり可決いたしました。

では、次に議案第3号 給食費の額の改定についてを議題といたします。

教育総務課長

事務局の説明をお願いいたします。

それでは、資料137ページを御覧ください。議案第3号 給食費の額の改定について、給食費の額を別添のとおり改定する。令和7年2月21日提出、教育長名でございます。

提案理由でございますが、物価上昇に対し、安定的に給食の提供を維持するため、給食費の額を改定するものでございます。

138ページを御覧ください。別紙として、給食費の額の改定金額をお示ししております。

1として、給食費の額、1食当たりの給食費の額が、小学校は会計前が250円、改定後が280円、中学校、特別支援学校高等部につきましては、改定前は300円でしたが、改定後は330円になります。

保育園などにつきましては、改定前が200円、改定後は210円になります。

施行時期につきましては、令和7年の4月1日から適用するものでございます。

続いて、139ページ、こちらは給食費の改定及び小中学校給食費の支援についてという資料を付けさせていただいております。

給食費の改定の資料ということで、1、改定の目的が記載しています。現在の給食費は、物価高騰と給食費の質及び量の維持に対応するため、令和6年4月に改定をいたしました。しかしながら、本年度令和6年度も物価高騰が続くとともに、令和7年度においても、さらなる高騰が見込まれる状況でございまして、成長期にある児童生徒の健全な心身の発達に必要な栄養バランスの取れた学校給食の提供を維持するため改定をお願いするものでございます。

2の会計額につきましては、先ほどお話したとおりでございます

が、小学校、中学校、特別支援学校の高等部潮風教室になりますが、こちらが30円の増額、保育園は10円の増額になります。

改定をこのように行いまして、市の支援策として、3番に支援額が記載しています。給食費の支援につきましては、市内に住所のある方を対象に行いますけれども、(1) 田原市立小中学校に在籍する児童生徒に対して半額を支援。

(2) 市内小中学校の在籍者で、食物アレルギーで給食を欠食した者の保護者の方への補助、これは給食費の支援額を上限としての補助になります。

(3) 田原市外小中学校当の在籍者のうち、在籍学校で給食の提供があり、給食費を負担した保護者の方へ、こちらも給食費の半額を上限として補助をします。

(4) 特別支援学校潮風教室の令和7年度の給食費につきましては、令和6年度の給食費相当額の300円を保護者負担としまして、今回、増額改定をします30円分を市の支援等したいと思います。

この支援のほうは、令和7年度をもって、また令和8年度は、給食費そのものを負担していただくということで終了となります。

(5) ですけれども、保育園児等に係る給食費を引き上げますけれども、全額市が無償化ということで支援をしております。

下の表は、改定後の給食費と、その保護者負担額、市の支援額の一覧になります。

次のページ、140ページを御覧いただきますと、給食費改定の算出資料としまして、1番目は物価上昇の状況、2番目は令和7年度の食数及び物資購入費、3番目は令和6年4月1日現在の近隣市の給食費の状況となっております。

1つ目の物価上昇につきましては、米価の大幅な上昇が予想されること、パン、麺、牛乳の上昇も予想されている。その他物資も、全国消費者物価指数とか、総務省の報道資料とかいろいろ分析していきますと、いずれも上昇が予想されるということで、物価上昇の傾向がありますので、今回改定をお願いするものでございます。

説明は以上になります。

教育長

はい。では、事務局の説明が終わりましたが、何かご質問等ございますか。よろしいですかね。

子どもは間違いなくこれで半額ですけれども、職員等の給食費は全額自己負担だよな。

教育総務課長

そうです。

教育長

説明はいらないけれども、一回ちゃんとそれは伝えておいたほうがいいかな。

教育総務課長

その辺は、改定をご決定いただきましたら、その後、学校へ通知をしますけれども、職員等の全額自己負担ということで、通知してまいりたいと思います。

教育長

事務員さんがやっていたら間違いはないけれども、学校によっては、給食は一般職員がやっている場合があるので、それはよほど注意してもらわないと。同じ金額をエクセルに入れてしまう可能性があるのです。

教育総務課長

今現在、お子さんたちは一部支援を行っています。

先生方、職員の方は、全額をいただいておりますので、引き続きそのような流れで行っていただけるように通知したいと思います。

教育長

はい、よろしくお願いします。

それでは、ご質問等ないようですので、お諮りをいたします。

議案第3号 給食費の額の改定については、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

委員

(異議なし)

ありがとうございます。

では、ご異議ないようですので、議案第3号につきましては、原案どおり可決いたしました。

教育長

続いて、報告事項に入りたいと思います。事務局の説明をお願いいたします。

では、教育委員会の皆様方からの報告事項を順次お願いします。

まず、田中早苗委員からよろしくお願いします。

田中早苗委員

お願いします。私からは、6件報告いたします。

1月24日、蒲郡市で行われた第2回教育委員代表者会議と、東三河管内市町村教育委員研修会と懇親会に参加してきました。

代表者会議で興味深かったのは、生徒指導についてと、暴力、暴力行為、いじめ、不登校について、児童生徒数は年々減少しているのに、件数は増加傾向というところです。

先生方の努力により、発見件数が増えているのかもしれませんが、全国的なこの問題をどうにか減らせないかなと思います。

情報交換の場では、豊橋市の山西教育長より、今年度の入学式は、小学校は4日の木曜日、中学校が5日の金曜日でしたが、早くないかどうかという意見がありました。

私個人的な意見ですと、やはり定年の7日前後がいいのではないかなと思いました。でも、教員の方々の意見も取り入れてはどうかなと思います。

続いて、2件目です。26日に豊橋市美術博物館での銅鐸の国を見てきました。社会科の教科書でしか見たことのない銅鐸でしたが、レブ

リカがあり実際に触れることができ、鳴らすこともできました。

お寺の鐘とはサイズ感が違いますが、新鮮で視覚だけではない展示が子どもも大人も心が躍るなどと思います。

田原市の協力もあり、出土地が知っている地名ですと、ほかのものよりも親近感がありました。

ミュージアムカフェで、銅鐸の販売がありましたが、残念ながら大人気のように売切れでした。

3件目です。2月2日、渥美半島駅伝の応援に行ってきました。サンテパークでスタートと、2区の応援をしてきましたが、見える範囲での転倒がなくよかったなどと思います。

雨上がりでしたので、所々に水たまりがありましたが、風もなくまづまづの天気かなと思いました。

帰宅後、ティーズの録画を見ましたが、ゴール後、優勝チームへのインタビューだけでなく、地元の成章高校の選手にもインタビューしてくれたのが、さすがティーズだと思いました。

4件目です。4日に愛知県市町村教育委員会連合会理事会に出席してきました。情報交換では、2件あり、総合教育会議の頻度が挙がっていました。年に1回か2回の市町が多かったのですが、3、4回、行う市町があり驚きました。

議題については、その年の旬なものが多く、ICT教育や部活動、ラーケーションなどについてなどでした。

部活動の地域移行についてですが、尾張旭市の東邦ガスとの連携がとても羨ましく思いました。

2件目は、クラブ指導の民間委託と跡地利用についてとありましたが、多数の市町が民間委託を実施しており、また跡地利用に悩んでおりました。更地にするにもお金がかかり、予算が取れなかったり、多くは駐車場にしたいと思っているようでした。

5件目です。7日、田原市保健対策推進委員会に参加してきました。健康たはら21第3次計画と、第2次田原市自殺対策計画が無事承認されましたので、3月に策定されます。

前回評価でDが多く、目標が高いのか、市民の健康意識が低いのか、少しがっかりしたのですが、中でも自殺者数は、交通事故指数をはるかに超えていますので、なんとか減らしたいと思います。

6件目、本日の午前中に東三河小中高特連携教育推進協議会に教育長と参加してきました。

6年度の報告、7年度の事業計画があり、東三河の子どもは東三河で育てるというキーワードが何回か出て、田原市の高校の定員割れがとても心配ですが、東三河で育てると考えると悪くないのかなとも思いました。

教育長

太田孝雄委員

以上です。

はい。ありがとうございます。

では、太田委員よろしくをお願いします。

3点、手短にお願いします。1月21日に奨学金費受給者の選考委員会のほうに出させていただきました。これは中学3年生を対象にして、優秀な生徒が高校に入って、高校進学が経済的に困難な生徒の希望者に対する奨学金受給の選考でございます。

私も何年か出させていただいているのですが、ここ3年、応募者が大変増えてきておりました。

令和3年には0だったのですが、4年以降、6人8人、今年は5人ということで、やはり経済的に少し厳しいのと、それから各学校でよくPRされているかなということを感じました。

今年は5名の応募がありまして、総合的に4名が選考されました。

それから、1月24日の東三の教育委員の研修会につきましては、先ほどにもありましたが、私がひとつ一番印象的だったのは、西浦の義務教育学校についてです。

少子化ということで、各地区、子供が減っているわけですがけれども、蒲郡は中学校区単位で検討ということで、そうするとやはり学校はなくしたくないという地域の強い要望だと思いますが、そこでこういった義務教育学校ということを作ったわけです。

先ほど教育長さんも言われましたけれども、今後のことを考えると、ああいう立派な箱ものを作って、またそれで子どもが減少していけば今後の取扱いどうするかなということを疑問に思いました。

懇親会については、4人テーブルという今までにないぐらいの少人数で、大変テーブルの中は密にできましたけれども、全体としては少し盛り上げられなかったかなということを思いましたので、来年の田原は会場が華山会館かどこか分かりませんが、もう少し全体的に懇親を図れるといいかなと感じました。

それから、渥美半島駅伝は私の近くを通りましたけれども、YouTubeで見ました。すぐうちの近くになかったものですから、車の移動のことも考えてYouTubeで全部見ました。

去年と少しコースが変わって、かなり農道を通る部分が多くて、応援者の数が少なかったなということを感じたところと、それから優勝したのは、京都外大西ですけれども、遠くから来ていただいて、渥美半島の本当に山や海だとか、応援する人の温かさだとか、そういうものがもう少し沿道の人がいるところがあるとよかったかなと思います。

旧和地小学校が使えなくなったということで、コースを変えたようで、少し寂しい面も私は個人的に感じました。

教育長

高崎佐智江委員

県外あるいは県内の尾張地区、いろいろなところから来ているもの
ですから、こういうところでこういうときに渥美半島の良さを若い人
たちにPRできる、大変いい機会ですので、この渥美半島駅伝を続け
ていただきたいなと思います。

以上です。

はい。ありがとうございます。

それでは、高崎委員よろしくお願ひします。

はい。失礼します。私は1月24日、東三第2回教育委員代表者会
議、そして2月9日、第18回しみんのひろばに少しお邪魔をさせてい
ただきました。

まず、1月24日の会議に際しまして、木村さんいつもありがとうご
ざいます。本当にご尽力いただいて、きめ細やかなご配慮いただい
て、気持ちよく参加させていただきましたことを、本当にありがたく
思っております。ありがとうございます。

それでは、教育委員代表者会議について申し上げたいと思います。
もうお二方が大体のことをおっしゃっているので、私は懇親会の情報
交換のときに、蒲郡市、新城、東栄の方とご一緒させていただいたの
ですけれども、本当に不思議なのは、その方たちは初めてでいらっし
やるのに、どなたかを介してお知り合いであったこととお話がとても
進み、各市の方々と話をすることによって、また新たに自分が心引き
締まる思いで、田原市の教育について考えさせていただく機会を設け
させていただき、とてもありがたく思っております。

2月9日、しみんのひろばについてですが、各団体が本当に一生懸
命されていて、その帰りにおいしいお野菜を買って帰ったのですけれ
ども、田原の中には魅力がたくさんあるなということを感じさせてい
ただきました。

それから、先ほどサンテパークの話が出ていたのですけれども、田
原って本当にサンテパークも含め、ララグランの子ども施設すくっと
には、名古屋からいらっしやったりとか、いろんな車が時期になると
あるのですが、こうしたPRをするところがたくさんあったり、図書
館を含め財政が本当に豊かだなということを、市役所の職員さんも本
当にいい方が多くて、ご尽力いただいていることに、改めて最近この
田原市民になれてよかったなということをお思っております。

先ほどからお子さんがどんどん減っていく少子化の話だったり、い
ろいろ出ているのですけれども、今日も教育長がいろいろおっしゃっ
たとおり、私今感じましたのが、教育一筋に何十年真剣に生きていら
っしゃったからこそ、いろいろな疑問点だったり、瞬時に解決だつたり、
ご指導いただくことが言葉に出るんだなということを改めて思わ
せていただきました。

今日、三、四十分ほど主人を送っていく機会があったものですから、あまりそういう話をしたことなかったんですけども、渥美半島の十年後はどうなっているかという話をたまたまして、そう考えると少子化ってすごく問題で、今、お子さんに手厚いご予算でしたり、今も学校教育課長の峠課長と給食費のことで、2人で話をちらっとしたのですが、給食費をこれだけお野菜豊富で、バランスのいい中でこの金額で食べられるってすごいことだなと。

ここには目に見えた予算だけではなく、そこに140円、280円という世界の中に、ここに働いてくださる方たちのお給料だったり、届けてくださる方のお金だったり、本当はすごいお金がかかっているんだよということを保護者の方々が認識してくださると、これが本当にありがたい給食だなということにご理解いただけるんだろうなと、今日の会議で改めて思わせていただきました。

あと一点、東三河の育てるというところは、だんだん少子化でそうなくなっていくんだろうなと思うのですが、田原の子を田原で育てるというポリシーを力尽きるまでいろいろ工夫をして、できれば発展していけるといいなと思います。というのは、今、社会福祉協議会さんと、あるフリースクールさんからの職場体験をお預かりして、本当にこの子たちは能力も高いし、社会でなんら活躍できる子たちがどうしてなのかなという疑問をすごく持ちました。

私自身も、若い子たちがうちの職場に来てくれるというのはすごくうれしくて、そうするとすごく可能性を感じます。

その彼女たちを見ていて私が一番感じたのは、彼女たちが被害者意識を持つのではなく、受け入れてくれる社会になっていくということが一番大事で、そこには先ほど教育長さんがおっしゃっていたような、働き方改革はあるのだけれども、質の向上をしていくということが大事かなと思いました。

以上です。

はい。ありがとうございます。

最後にすみません。田中智和委員よろしくお願いします。

ちょっとすみません。申し訳ありません。

16時から次の会議の時間が決まっているものですから、委員さんよろしければ、申し訳ないですけども、ここで一度中断させていただいて、次の会議の始まるときに田中委員さんから報告していただき、そのほか、まだ報告が2つ、3つありますので、そういう形を取らせていただくことをお願いしたいのですけれども、よろしいでしょうか。

すみません。

いえいえ。

教育長

教育総務課長

高崎佐智江委員
教育総務課長

教育長
教育総務課長

いえいえ。僕の取り回しが悪いで。僕も心配はしていて。
いえいえ。やはり議題が多くて心配していたのですけれども、大変こちらの段取りが悪くて申し訳ありませんでした。時間の配分が悪くて申し訳ありません。
今、会場の準備をさせていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

教育長

ご協力お願ひします。
中 断 午後3時47分

教育長

再 開 午後4時56分
では、よろしいですか。取り回しが悪くてごめんなさい。
先ほどの第1部の続きを行います。田中智和さんからですが、よろしいでしょうか。

田中智和委員

はい。では私からは4点、報告させていただきます。
先ほどの会議で皆さん言われていましたが、蒲郡の東三河管内教育委員の研修会に行きました。
懇親会では、蒲郡の委員さんと、新城の委員さんと話が盛り上がりまして、どちらも自然が多いのですが、やはり田原には表浜の海があるという話になりまして、ちょうど私の地元の小学校が、今までは縦割りです。4月、5月の遠足に、表浜の海が近いので行っていたのですが、それが今の校長先生になってなくなりました。
それを、その場でせっかく海があるのになくなったんですという話をしたら、本当にもったいないことだとおっしゃいまして、せっかくそんなに近くにいい自然の学びの場があるのに、それはぜひ言ったほうがいいよと言われたのですが、私も嫌われたくないので少し言いにくいなと思ひながら、はいはいと言っておきましたけれども、本当に自然の近い海がある地区は、ぜひ行っていただけたらなと思ひました。
以前、野田小学校PTAの発表のときに、野田の子たちが仁崎の海に行ったという写真と報告を見て、今年度の中山小PTAの発表でも自然とのものを見て、やはり神戸も海が近いのに、それを利用する期間が1年で一度もないので、なくなってしまったのは、それは本当にもったいないなと思ひました。
中学校は表浜のごみ拾いがあるので、少しは自然と触れ合うのですが、ぜひ近いところは海と触れ合って、子どもたちの心も育んでもらえたらなと思ひました。

そして、1月31日に男女共同参画の会に参加しました。そこで決まったキャッチコピーとか、スローガンを発表する予定でしたが、資料を忘れてしまったのでできませんが、その応募を募集するのに、赤羽

根中学校の一部の学年だけだったので、せっかくなら取りまとめは大変ですが、田原市中の中学校から募集していただけたらなと思いました。

そして、2月2日に渥美半島駅伝大会を近所で応援させていただきました。うちの父が高校時代に、渥美半島駅伝で区間賞を取ったと死ぬまで自慢していたので、私は渥美半島駅伝がくるたびに父親を思い出して、全員家族のつもりで応援していました。

そして、2月18日に田原市教育委員会表彰選考会に、初めて出席させていただきました。

地元の知っている子たちの名前が何名も上がって、本当にみんなが自分の見えないところでこんなに頑張っているんだというのが分かって、ぜひ頑張っている子をどんどん表彰してあげてほしいなと思いました。

以上です。

はい。ありがとうございました。

それでは、続いて、報告事項の(2)に入ります。

(2) 小中学校及び図書館への寄附について、事務局から説明をお願いします。

それでは、寄附についてご説明申し上げます。

資料の141ページを御覧ください。141ページ、令和6年度教育関係寄附一覧になります。

こちらの1番から11番までは、以前に報告済みでございますので、今回は12番から15番までを報告させていただきます。

まず、教育総務課分でございますが、12番は、令和7年1月20日に匿名希望の方から大草小学校、教育環境の充実のためにトラロープ130本、軽量防災メッシュエコノミーシート網戸1巻をいただいております。

1つ飛ばしまして、14番は、令和7年2月12日に、令和7年赤羽根小学校厄歳一同様から、赤羽根小学校へ学校行事等の教育活動の充実のために、プロジェクター1台、バスケットボール4個、ボール空気入れ1台、空気入れ針4本をいただいております。

15番は、令和7年2月17日に、豊橋信用金庫、理事長、山口進様から、教育総務課と書いてありますが、「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」を応援するためとしまして、100万円をいただいております。こちらにつきましては、本年度実施の小中学校の屋内運動場空調設備設置工事、設計業務のほうへ充てさせていただいておりますので、ご報告させていただきます。

以上、教育総務課分の報告とさせていただきます。

続きまして、図書館分です。

教育長

教育総務課長

図書館長補佐兼係長

教育長

13番を御覧ください。令和7年2月1日、渥美半島産直部会様から、図書館に対しまして、読書環境の充実のためということで、児童書を87冊いただきました。

以上です。

はい。ありがとうございました。

それでは、ただいまの事務局の報告について、何かございますか。よろしいですかね。

それでは、ご質問もないようですので、次に報告事項の(3)令和6年度一般会計教育費補正予算2月分について説明をお願いします。

生涯学習課

はい。生涯学習課から2月の臨時議会で議決されました2件の補正案件について、ご説明させていただきます。

資料は147ページでございます。まず、児童クラブ運営事業の事業概要を御覧ください。

前回、この教育委員会でご説明をさせていただきましたが、令和5年度子ども・子育て支援施設整備交付金を受けましたが、額の確定によりまして、375万6,000円を2月の28日までに国へ返還するという事になっていきますので、それに伴う補正をさせていただいております。改めて申し訳ございませんでした。

続いて、148ページは、繰越理由のとおり、入札の不調によりまして、令和6年度内に適正な工事期間を確保することが難しいということで、大草市民館の空調関係につきまして、繰越とさせていただいております。

以上となります。

教育長

はい。ありがとうございます。

それでは、ただいまの補正予算の説明について、何かご質問等ありますか。よろしいですかね。はい。

では、ご質問もないようですので、次に報告事項の4、田原市教育委員会表彰について、事務局からの報告をお願いします。

教育総務課長

はい。149ページを御覧ください。こちらは、令和6年度田原市教育委員会表彰受賞者の一覧となっております。

2月18日に行われました教育委員会表彰選考委員会におきまして、この一覧のとおり受賞者を決定いたしました。

149ページから154ページにかけてありますけれども、154ページに集計がございますが、功労賞が6組、個人3人、団体3組、殊勲賞が69組、個人106人、団体1組の合計109人4団体の方を表彰させていただきます。

なお、表彰式につきましては、3月25日の午前10時から行う予定としておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

教育長

はい。それでは、今の報告について、何かご質問等ありますか。よろしいですかね。

年々、表彰者が増えているということは、それだけ子どもたちも、市民さんも頑張っているということで、ぜひ応援していただけたらとありがたいかなと思います。

教育長

それでは次に、その他ですけれども、事務局から何かありますか。

はい、どうぞ。

教育総務課長

それでは、今後のスケジュールにつきまして、資料を付けさせていただきます。

155ページを御覧ください。今日委員出席日程（案）についてという資料になります。本日の2月2日以降のスケジュールを付けさせていただきます。

3月7日につきましては、中学校卒業式がございます。それぞれ東部中学校は、田中智和委員、田原中学校は、高崎委員、赤羽根中学校は、太田委員、福江中学校は、田中早苗委員ということで、ご出席お願いいたします。

次に、3月19日は、小学校の卒業式でございます。それぞれ田原南部小学校は、太田委員、童浦小学校は、高崎委員、野田小学校は、田中智和委員、中山小学校は、田中早苗委員、福江小学校は、教育長さんのご出席をお願いいたします。

続いて、3月25日ですが、先ほど申し上げました田原市教育委員会表彰式を、田原市役所、この庁舎の6階の講堂で10時から行う予定でございました、同日午後には、教育委員会の第3階定例会を13時30分から302会議室で行いたいと思います。

その次が、3月31日につきましては、教育委員会第1回の臨時会を10時から行いまして、その後、教職員退職者辞令交付式を行う予定です。4月1日火曜日には、10時15分から教育委員・教育委員会事務局管理打合せ会、その後、教育委員会事務局の辞令伝達式ほかの行事が予定されております。

こちらは、両日のタイムスケジュールにつきましては、今後作成をいたしまして、次回の第3定例会の際にお渡ししたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

4月4日は、教育委員代表者会議が15時30分から東三河県庁で開催されますので、教育長さんと、職務代理者の方のご出席をお願いいたします。

4月18日については、16時から教育委員会第4回定例会を行う予定で計画をしております。

なお、この日は16時からということで、今までの例であれば、その後の夜に、教育委員会全体の歓送迎会ということで企画をしたいなど

	<p>考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>教育委員さん方の出席の予定は、日程は以上のこととなりまして、裏面の156ページにいきますと、教育関係のイベントが記載のとおり開催されますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
教育長	<p>はい。ありがとうございます。</p>
太田委員	<p>それでは、今の報告について、何か質問はありますか。</p>
教育長	<p>すみません、1点だけお願いします。</p>
太田委員	<p>はい、どうぞ。</p> <p>教育関係のイベントの一番最後の赤羽根ロングビーチランですけれども、募集期間が終わって延長されたということで、応募される方が少なかったのか。</p>
スポーツ課長	<p>130名ほどで少し運営が厳しいなということで、延長をさせていただきまして、約180名になりました。</p>
太田委員	<p>そうですか。</p>
スポーツ課長	<p>なんとか運営をやりながら今、大会の運営調整のほうも約180名で始めております。特に今回よかったのは、ぐるっとマラソンと同等人数の申込みがあったので、ほぼほぼマックスできたのかなというイメージでおります。</p>
太田委員	<p>結構、費用もかかるし、参加者少なかったのかなと思ひまして。</p>
スポーツ課長	<p>特に高い3,500円の部が、50人、60人申し込んでくれましたので、少し安心かなと思っています。</p>
太田委員	<p>そうですか。</p>
教育長	<p>スポーツ協会の力ですかね。</p>
スポーツ課長	<p>そうですね。</p>
教育長	<p>そうだよな。</p> <p>だけど、小中学校が少ないというのは、やはり反省しないとイケないのではないのか。</p>
スポーツ課長	<p>そうですね。やはり小学校、中学校で。小学校は、低学年も親の承諾で出られるようになっていますが、高学年の部しかないので、どういうふうにしたら出てくれるかというのは検討課題になると思いますので、またいろいろ各団体に相談かけたいなと思っております。</p>
教育長	<p>続けるんだよね。</p>
スポーツ課長	<p>一応、第1回と名付けてありますので、来年度もやりたいなということでは言われておりましたの。</p>
教育長	<p>分かりました。結構でございます。</p> <p>はい。そのほか、何かありますか。</p> <p>委員さんのほうから、何かありますか。よろしいですかね。</p> <p>はい。それでは、すみません。取りまわしが悪く、17時10分を超え</p>

教育長

てしまいましたが、以上で本日の議事は全て終了をいたしました。
これもちまして、田原市教育委員会第2回定例会を閉会とさせていただきます。

本日はありがとうございました。

閉 会 午後5時11分

教育長

委員

委員